

- きじはこえにだしてよんでみよう。
- ないようについて、だれかとはなしてみよう。

「樹木博士」なろう

福島^{ふくしま}の国有林^{こくゆうりん} おやこ^{おやこ}親子イベント

森林管理署^{しんりんかんりしょ}の職員^{しんしん}から樹木^{じゆもく}の特徴^{とくちょう}などについて説明^{せうめい}を受ける親子^{おやこ}ら



福島民友新聞社は3日、福島市松川町水原の南沢国有林でイベント「森で学ぼう 親子『子ども樹木博士』チャレンジ! 2025」を開き、参加した親子が「樹木博士」を目指して学んだ。

福島森林管理署の共催、県林業会館の協賛。自然に親しみながら、森林の役割や大切さを知ってもらおうと毎年開いている。県内の小学生とその保護者、森林管理署の職員ら約30人が参加した。

参加者は職員案内で森林を散策しながらアカマツ、ヤマザクラなどの葉や幹に触れて特徴や名前を覚えた。その後、樹木の名前を答える試験に挑戦。正解数に応じて級・段位の「子ども樹木博士」の認定証を受けた。

試験後には木製のオブジェ作りなどを体験する木工教室も開かれた。参加した福島市の佐藤大翔さん(鎌田小4年)は「木の特徴を見分けるのは難しかったけれど、名前を覚えることができて楽しかった」と笑顔で話した。

▲ 8月4日 福島民友新聞掲載

学校や公園などの木々や街路樹には、どんな名前の樹木があるのかな？



きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)